

(https://partner.jica.go.jp/Contents/pdf/JICAPARTNER_%E6%93%8D%E4%BD%9C%E3%83%9E%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%AB_%E6%A5%AD%E5%8B%99%E5%AE%9F%E6%96%BD%E5%A5%91%E7%B4%84.pdf)

- ◇ 提出方法等の詳細については JICA ホームページ内の以下をご覧ください。
「コンサルタント等契約におけるプロポーザル作成ガイドライン（2024 年 4 月）」の「別添資料 11 業務実施契約（単独型）公示にかかる競争手続き」
<https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/20220330.html>

なお、個人の資格で競争に参加する場合、簡易プロポーザル提出 5 営業日前までに所定の競争参加資格審査申請書の提出が必要です。

- ◇ 評価結果の通知：2024 年 10 月 25 日（金）までに個別通知
提出されたプロポーザルを JICA で評価・選考の上、契約交渉順位を決定します。
- ◇ 評価結果説明の取り止め：2023 年 6 月 30 日のお知らせに掲載
(<https://www.jica.go.jp/about/announce/information/consultant/2023/20230630.html>) のとおり、2023 年 7 月以降の単独型公示については評価結果の説明を取り止めます。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

(1) 業務の実施方針等：

- ① 業務実施の基本方針 16点
- ② 業務実施上のバックアップ体制 4点

(2) 業務従事者の経験能力等：

- ① 類似業務の経験 40点
- ② 対象国・地域での業務経験 8点
- ③ 語学力 16点
- ④ その他学位、資格等 16点

(計 100 点)

類似業務経験の分野	各種評価調査 (水産業についての各種評価調査の経験を高く評価する)
対象国及び類似地域	コートジボワール及び全途上国
語学の種類	英語またはフランス語

5. 条件等

(1) 参加資格のない社等：

本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めません。

(2) 必要予防接種：特になし

6. 業務の背景

コートジボワールでは、国民の摂取する動物性タンパクの 33%を水産物が占め、年間一人あたり消費量は 25.6Kg となっている（日本は 23.9Kg(2018 年)）。同国での水産物消費量約 640 千トン/年のうち、国内生産量は 110 千トン/年に留まり、約 567 千トン/年を輸入している（輸出量は 36 千トン/年）。また、同年の水産物輸入額は 536 百万ドルで同国の輸入総額のおよそ 4.9%を占めている。同国の人口は毎年 2.6%ずつ増加しており、水産物需要は益々高まることが見込まれているなか、食料安全保障と貿易収支改善の観点から国内水産物生産の強化が求められている。

水産物の国内生産のうち 96%が漁業によるものである。年間漁獲可能量は 197 千トンと推計されているが、その量は国内需要の 30%に過ぎない。一方、コートジボワールは河川やラグーン等、豊富な水資源や低湿地等の地理条件に恵まれているにも関わらず、養殖魚による国内生産は 4%、約 4.5 千トンに留まっている。そのため、内陸部でも生産が可能で、安定した品質の養殖魚を、1 年を通じて生産できる内水面養殖による水産物の国内生産量の増大に大きな期待がかかっている。

かかる状況下、同国政府は 2014 年に「畜産・漁業・養殖開発戦略計画」以下、PSDEPA (Plan stratégique de l' élevage, de la pêche et de l' aquaculture) 2014-2020 を策定し、養殖セクターの商業化を促進し生産量の増大を目標とする開発戦略を提示した。しかし、本戦略を具現化するための養殖セクターのアクションプランや養殖技術に係るガイドラインが未整備であったため、我が国にこれらの整備を行う技術協力を要請した。JICA は同要請を受け、開発調査「内水面養殖再興計画策定プロジェクト」以下、PREPICO (Projet de Relance de la Production Piscicole Continentale en Côte d' Ivoire) 2016-2019 を実施した。その結果、国家養殖開発行動計画、以下 PANDEP (Plan d' Actions National de Développement de la Pisciculture) 2017-2026 および養殖技術ガイドラインがまとめられ、養殖開発の方向性とその実施を支える技術的基盤が整備された。PANDEP 2017-2026 では、1) 質の高い種苗や飼料へのアクセス改善、加工及びビジネス環境の改善及び遺伝資源と養殖環境の持続的管理を通じた、品質の高い国内産養殖魚生産による国内需要充足率の向上、2) 人材及び組織能力強化を通じた、人材の専門性向上と養殖セクターの構造化推進、3) 法律等、制度枠組みの改善及び養殖業への投資促進の強化を通じたガバナンス改善、の 3 つの目標が掲げられた。また養殖技術ガイドラインでは、養殖施設、生産、加工・販売、技術普及、資金調達、組織強化、環境、トレーサビリティなどについて技術的見解がまとめられた。

こうした背景の下、今後これら PREPICO の成果を十分に活用し、PSDEPA 2014-2020 で示されている商業化を通じた生産増強を図ることが期待されているところ、同国政府は本事業を我が国に要請した。

なお、中西部アフリカギニア湾沿岸諸国は養殖振興を政策の重要目標に掲げている。地域漁業委員会の中西部ギニア湾漁業委員会 CPCO (Le Comité des Pêches pour le Centre-Ouest du Golfe de Guinée) は、この共通の課題

を地域レベルで解決するべく、JICA の協力により 2020 年に養殖開発戦略計画 2021-2030 を策定した。本事業の成果は、養殖開発戦略計画 2021-2030 の実施を通じ近隣諸国への展開も期待される。

本プロジェクトは、コンサルタント契約と直営専門家の体制で 2021 年 11 月 1 日から 2027 年 4 月 30 日までの約 5 年半の事業であり 2024 年 11 月でプロジェクト中間地点を迎えるため、これまでのプロジェクト活動の実績、成果をコートジボワール C/P (動物水産資源省 (MIRAH)) とともにレビュー、確認し、PDM (Project Design Matrix) ・PO (Plan of Operations) の見直しに加え、今後のプロジェクト活動の方向性を整理し、関係者間で合意する。

7. 業務の内容

(1) 準備業務 (2024 年 11 月中旬～2024 年 11 月下旬)

- ① 既存の文献、報告書等 (業務進捗報告書、モニタリングシート、合同調整委員会議事録、活動実績資料等) をレビューし、プロジェクトの実績 (投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、実施プロセスを整理、分析する。
- ② 既存の PDM を参照及び現地プロジェクト専門家、経済開発部が主催する勉強会への参加を通じて、プロジェクトの進捗、実績、実施プロセスに関する情報収集を行う。また、現地で入手、検証すべき情報や説明すべき事項を整理する。
- ③ プロジェクト関係者 (プロジェクト専門家、C/P、養殖家グループ、その他コートジボワール側関係機関に対する質問票 (英文または仏文) を提案する。
- ④ 対処方針会議等に参加する。

(2) 現地業務 (2024 年 11 月下旬～2024 年 12 月上旬)

- ① JICA コートジボワール事務所、コートジボワール側関係機関等との打合せに参加する。
- ② プロジェクト関係者に対して、本調査の目的、評価手法等について説明を行う。
- ③ 事前に配布した質問票をもとにプロジェクト関係者に対するヒアリングや現地視察等を行い、プロジェクト実績 (投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、実施プロセス等に関する情報、データの収集、整理

を行う。また、これら議事録を作成する。

- ④ 収集した情報、データを分析し、プロジェクトの貢献、阻害要因を抽出する。
- ⑤ 国内準備並びに上記③及び④で得られた結果をもとに、他団員及びコートジボワール側 C/P 等とともにプロジェクトの実施状況に関して評価を行い、評価調査報告書（案）（英文または仏文）の取りまとめに協力する。
- ⑥ 調査結果や他団員及びコートジボワール側 C/P 等からのコメント等を踏まえた上で、PDM 及び PO の修正案（英文または仏文）の取りまとめに協力する。
- ⑦ 評価調査報告書（案）作成に関する協議に参加し、担当分野にかかる説明を行うとともに、協議を踏まえた同案の最終化に協力する。
- ⑧ 協議議事録（M/M）（英文または仏文）の作成に協力する。
- ⑨ 現地業務結果に関する JICA コートジボワール事務所等への報告に参加する。

（3）整理業務（2024年12月中旬～2024年12月下旬）

- ① 帰国報告会に出席し、担当分野にかかる説明を行う。
- ② 担当分野の評価調査報告書（案）（和文）を作成するとともに、他団員が作成する報告書（案）を含めた全体の取りまとめに協力する。

8. 報告書等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。なお、報告書を作成する際には、「コンサルタント等契約における報告書の印刷・電子媒体に関するガイドライン」を参照願います。

（1）業務完了報告書

2024年12月27日（金）までに提出。

次の①～③、及び収集資料一式を添付し、電子データにて提出する。

- ① 評価調査報告書（和文・英文）
- ② 改訂版 PDM（案）（英文）
- ③ 改訂版 PO（案）（英文）

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン（2023年10月（2024年7月追記版））」の「X I. 業務実施契約（単独型）」及び「別添資料2 報酬単価表」を参照願います。

<https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>

留意点は以下のとおりです。

（1） 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積書に計上して下さい）。効率的かつ経済的な経路、航空会社を選択いただき、払戻不可・日程変更不可等の条件が厳しい正規割引運賃を含め最も経済的と考えられる航空賃を見積もってください。

10. 特記事項

（1） 業務日程／執務環境

① 現地業務日程

現地業務は2024年11月24日～12月8日を予定しています。

② 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

ア) 総括（JICA）

イ) 協力企画（JICA）

ウ) 評価分析（本コンサルタント）

③ 便宜供与内容

JICA コートジボワール事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎：あり

イ) 宿舎手配：あり

ウ) 車両借上げ：全行程に対する移動車両の提供

エ) 通訳傭上：あり（英仏通訳）

オ) 現地日程のアレンジ：JICAが必要に応じアレンジします。なお、JICA 団員到着前の関係機関へのアレンジについては、コンサルタントによるアポイント取り付けが必要となる場合があります。

カ) 執務スペースの提供：なし

(2) 参考資料

- ① 本業務に関する以下の資料を JICA 経済開発部農業・農村開発第一グループ第二チームから配付しますので、edga1@jica.go.jp 宛にご連絡ください。
 - ・第1期業務進捗報告書（業務実施契約）
 - ・第2期業務計画書（業務実施契約）
 - ・2023年度活動報告（直営専門家担当版）
 - ・2023年度業務計画（業務実施契約）

(3) その他

- ① 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ② 現地業務期間中は安全管理に十分留意してください。現地の治安状況については、JICA コートジボワール事務所などにおいて十分な情報収集を行うとともに、現地業務の安全確保のための関係諸機関に対する協力依頼及び調整作業を十分に行うこととします。また、同事務所と常時連絡が取れる体制とし、特に地方にて活動を行う場合は、現地の治安状況、移動手段等について同事務所と緊密に連絡を取る様に留意することとします。また現地業務中における安全管理体制をプロポーザルに記載してください。また、契約締結後は海外渡航管理システムに渡航予定情報の入力をお願いします。詳細はこちらを参照ください。
<https://www.jica.go.jp/about/announce/information/common/2023/20240308.html>
- ③ 本業務の実施にあたっては、「JICA 不正腐敗防止ガイダンス」（<http://www2.jica.go.jp/ja/odainfo/pdf/guidance.pdf>）の趣旨を念頭に業務を行うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口または JICA 担当者に速やかに相談してください。
- ④ 発注者、受注者との間で業務仕様書に記載された業務内容や経費負担の範囲等について理解の相違があり発注者と受注者との協議では結論を得ることができない場合、発注者か受注者のいずれか一方、もしくは両者から、定められた方法により「相談窓口」に事態を通知し、助言を求めることができます。
- ⑤ 本業務については先方政府側の対応次第で、渡航時期及び業務内容が変更となる場合も考えられるため、具体的な渡航開始時期等に関しては JICA と協議の上

決定します。

- ⑥ 公示内容の更なる質の向上を目的として、競争参加いただいたコンサルタントの皆様からフィードバックをいただきたいと考えています。つきましては、お手数ですが、ご意見、コメント等をいただけますと幸いです。具体的には、選定結果通知時に、入力用 Forms をご連絡させていただきますので、そちらへの入力をお願いします。

以上